明倫の里（めいりんのさと）

城北（じょうほく）

城北地区

■城北コミュニティセンター明倫
〒763-0014
丸亀市御供所町一丁目5番20号
電話(0877)25-2141

■人口　6,592人
■世帯数　2,922世帯
［平成23年4月1日現在］

- 富士見町一～五丁目
- 土居町一～三丁目
- 風袋町
- 瓦　町
- 葭　町
- 米屋町
- 松屋町
- 魚屋町
- 宗古町
- 城東町一～三丁目
- 御供所町一～二丁目
- 北平山町一～二丁目
- 大手町一丁目

城北の名称は、明治5年に小学校の先駆けとなる丸亀郷校が開かれ、その後、明治34年城北と城西の二校に分割され、本校を城北尋常小学校と改称されたのが始まりです。丸亀城の北方向にあることから、この名がついたようです。なお、城北小学校は藩政時代（1797年頃）に「明倫館」と呼ばれ、それ以来、丸亀における学問の拠点として引き継がれてきたことに由来して、コミュニティセンターの名に明倫がつきました。
城北地区内の見所としては、東汐入川緑道公園や妙見宮の秋祭り・北平山町の旧寺町界わい（寺景観）などがあります。

城北地区のビオトープ、土器川河口。

もっと、増やそうね！
ビオトープとは、いろんな生きものがくらせるところ。

土器川河口の生きものたちを探してみよう！

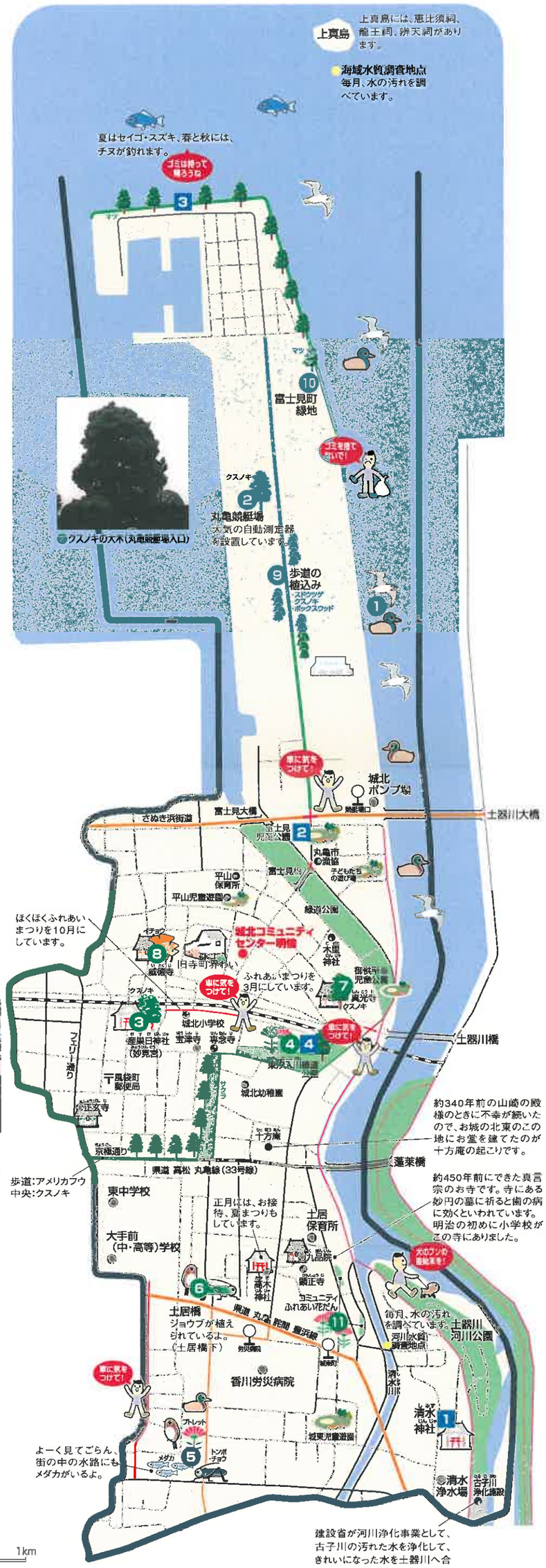
ハマシギ
群れで一斉に飛ぶ。

アオサギ
主食は魚で地面に立ちやカニなどを食べる。

ゲンゴロウブナ
釣りの人気魚（ヘラブナ）である。

スズキ
海と川の中ほどで、20cmまでハゼ、60cm以上スズキと呼ばれる出世魚。

ガマ
水辺に生える多年草。



3 産巣日神社（妙見宮）
妙見宮の秋祭りは、3年に一度、山北八幡宮の旅所になります。

ちょっと見たいもの

1. カモメ・カモ・ウミネコ等の渡り鳥が来ます（土器川河口付近）
2. 大きなクスノキ 高さ15m 幹回り2.5m（丸亀競艇場入口）
3. 大きなクスノキ（産巣日神社）
4. 緑が多く、季節を通じていろいろな花が植えられます（東汐入川緑道公園）
5. トンボ・チョウ・メダカ・小鳥等が見られます ブトレットの花も咲いています（労災病院の南西）
6. トンボ・小鳥等が見られます（土居橋の北側）
7. クスノキ（真光寺）
8. イチョウの木（威徳寺）
9. スドウツゲ・ボックスウッド・クスノキなど歩道の植込み（丸亀競艇場前の道路）
10. 防風林 マツ（富士見町緑地）
11. ハボタン・パンジー・チューリップが咲いています（コミュニティふれあい花だん）

ちょっと行きたいところ

1. 清水神社
2. 富士見児童公園
3. 競艇場北側の堤防
4. 東汐入川緑道公園

5 カモメ・カモ・ウミネコ等の渡り鳥が来る場所（土器川河口付近）

2 富士見児童公園

3 4 東汐入川緑道公園
6月頃には、おいしいサクランボがなるよ。

11 コミュニティふれあい花だん
ハボタン・パンジー・チューリップが咲いているよ。

1 清水神社
文政元年（1818）に祀られたと伝えられています。清水大明神を祀った杜が、土器川の氾濫で流されてしまいました。その同じ年に庄屋が神のお告げを夢に見て、その地点を掘ったところ、めずらしい石が出てきました。村民は大いに喜んで、これを祀り清水大明神として崇敬しました。神社のそばにある清水は、神功皇后ゆかりの泉とされ、この湧き水を神として祀ったとされています。

城北イラストマーク対応表（地図中のイラストはそれぞれ下記のものを表しています。）

	木全般		イチョウ		カモなど		ウミネコ・カモメなど		メダカ		植え込みなど		讃岐富士が美しく見えるなど眺めの良い場		神社		工場		丸亀コミュニティバス（ぐるっと）停留所
	花全般		小鳥		サギ・キジなど		魚全般		虫全般 バッタ・スズムシ・コオロギ・セ		公園・遊び場		散歩道・トレーニングコースなど		寺		町並み		

街路樹　ぐるっとの経路　犬のフンの後始末を！　車に気をつけて！

中日本ネーチャーセンター（現在の瀬戸内海国立公園協会）による地域振興調査（平成22年6月）を参考に、転載したものです。

再生紙を利用しています。